【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公開番号】特開2000-141679(P2000-141679A)
【公開日】平成12年5月23日(2000.5.23)
【出願番号】特願平10-313395
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　2/175
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　3/04　１０２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月28日(2005.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
　ただし、インク室３０内に２回目以降のインクＩが残っていると、補給が終了したあと、通気孔を開いたままの状態で、ピストン３を手で押し下げてやる必要があるので、かかる構成を採用するのは、前述した、１回分のみのインクがインク室３０に充てんされる、小型の補給具が好ましい。
　インク室はシリンダに設けてもよい。たとえばシリンダの途中にピストンのストッパを設けて、シリンダの、ストッパより先の部分をインク室にしたり、あるいはシリンダの外側にシリンダ内と連通するインク室を設けたりしてもよい。ただし前述したように、補給具の全体を小型化するためには、図の例のようにピストンにインク室を設けるのがより好ましい。
　その他、本発明の要旨を変更しない範囲で、種々の設計変更を施すことができる。